広報
おのまち
平成１８年
No.５２４
10

世代から世代へ やさしさのリレー

９月18日に開催された小野町敬老会の会場で、高校生を中心としたボランティアのみなさんが活躍していました。

雨の中、入り口に立ち笑顔で傘袋を渡したり会場案内をしたりする姿に、訪れた招待者も笑顔を返していました。

いつまでもお元気で

第45回小野町敬老会

9月18日、第45回小野町敬老会を小野町多目的研修集会施設において開催しました。

今年の敬老会に招待した75歳以上の方々は、昨年より60名多い1、695名でした。

町長は「今日の我が町進展を支えてこられた皆様の情熱とご精励並びに多年にわたり家族の繁栄と地域振興にご尽力いただきましたご功績に深い敬意と感謝を表するものです。

これからの社会は単に長寿を目指すのではなく『長寿を喜ぶことのできる社会』を実現しなければなりません。このため、更に健康とゆとりの心を持たれ、地域社会への積極的な参加をいただきますようお願いします。」とあいさつ、その後、表彰が行われました。

①町敬老祝金贈呈　1、695名
②笑顔とがんばり長寿者敬愛条例賀寿及び敬祝金贈呈（90歳到達者）39名
③内閣総理大臣賀寿贈呈（100歳到達者）3名
④戦没者遺族80歳到達者町遺族会賀寿贈呈　12名
⑤戦没者遺族90歳到達者町遺族会賀寿贈呈　7名
⑥戦没者の妻90歳到達者県遺族会賀寿贈呈　3名
⑦しあわせ金婚夫婦賀寿贈呈　33組

内閣総理大臣賀寿　齋藤むめさん（谷津作）

町敬老祝金代表　冨澤シメヨさん（和名田）

式典終了後、小戸神小学校児童、小野町連合婦人会のみなさんによる余興が披露され、和やかな雰囲気の中で敬老会を終了しました。

敬老会開催にあたり、行政区長、民生委員、高校生ボランティア、余興関係者等多くの皆様のご協力をいただきましたことに対し、紙上より厚く感謝を申し上げます。

しあわせ金婚夫婦賀寿
中野隆治さん・晴子さん（皮籠石）

小戸神小学校児童による一輪車

小野町連合婦人会のみなさん

ありがとう

甘くて・おいしい・ミネラルたっぷりの枝豆

8月31日、浮金中学校では生徒が近くの農家の指導を受け、ミネラル栽培で丹精込めて育てた茶豆の収穫を行いました。

翌日、浮金小・中学校、飯豊小学校では、ミネラルたっぷりで茹でたての甘くておいしい枝豆を給食で味わいました。

また、小野町ミネラル野菜部会（藤井崇会長）では、「子どもたちに新鮮でおいしい枝豆を食べてもらいたい」と3年前から町内の小学校、保育園・幼稚園・児童園にミネラル栽培で育てた枝豆を提供しています。今年も、8月下旬に新鮮で甘い枝豆が各施設に届けられました。

それぞれの施設では、早速茹でたての枝豆が給食の一品に付け加えられ、子どもたちは、おいしそうにほおばっていました。

浮金つつじ児童園

小野新町小学校

小野町防災訓練実施

9月16日、夏井第二小学校をメイン会場に小野町防災訓練を実施しました。『同地内でマグニチュード7・5の地震が発生し、さらに台風接近に伴う大雨で小野町においても、土砂崩れ、建物火災などの多くの災害が発生した』ことを想定し、小野町地域防災計画に基づき訓練を行いました。

小野町と小野町消防団が主体となり、塩庭一区、塩庭二区、上羽出庭、和名田の各行政区並びに各自主防災会、夏井第二小学校、羽出庭つくし児童園、小野町社会福祉協議会、県消防防災航空センター、陸上自衛隊第六高射特科大隊などが参加し、住民避難誘導訓練や遠距離中継送水訓練、建物火災防ぎょ訓練などを行いました。参加者は、本番さながらに真剣に取り組んでいました。

これからの季節は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。日頃から火の元の点検などを行い、災害の未然防止に努めましょう。

消防団員と自主防災会員による救出訓練

消防団員による遠距離中継送水訓練

おのまち夢企画提案のコーナー

このコーナーでは、町政に関する新たな制度の創設や事業の実施など、皆さんの自由な発想からの提案を募集しています。（手紙、ファックス、電子メールなど）
提案については、具体的な事業への反映の可能性などを検討し回答します。内容については、提案趣旨の変わらない範囲で要約をする場合もあります。
今月は、7月中に提案のあった4件の提案についてお知らせします。

小野町町民が全員で「もったいない運動」をしてはいかがでしょうか。「ベルマーク」や「缶ジュースのプルタブ」の回収、その他、知らないものがあるかもしれません。これらの物を町民全員が回収することによって、有効に活用されればと思います。

小野町における「ベルマークの回収」「プルタブの回収」などの取り組みについては、学校や学級、生徒会などで回収を行っている学校もありますが、全体としての取り組みには至っていません。
提言にあるように「ごみ」の中には、資源としての「価値」が残されているものもあります。一人ひとりが資源の大切さに気づき行動できるよう、意識を高める取組が必要と考えます。すぐにできることから始めて、町全体の動きに変えられるよう、新たな視点から取り組みを進めて行きたいと考えています。

小野町に産学官共同でソフト産業を起業して若者が定着して生活できる街にしよう。新しい産業としての組み込み型ソフトの設計会社を起業することで、小野高校からの一貫教育で即戦力になるソフトエンジニアを育成し、競争力のある会社として起業することで、中長期的な雇用を生み出し、町の人口減少、少子化等の問題の一助になるものと期待しています。

ご提言のとおり「ソフト（ソフトウェア）」は、携帯電話をはじめ、テレビ、電話、ＤＶＤ、カーナビ、テレビゲーム、などの電子機器の中核をなすもので、組み込みソフトウェアは、我が国の産業にとっても重要な役割を有しています。国では産業政策としての組み込みソフトウェア開発力強化に向けた検討を行い、技術力のみならずソフトウェア開発技術者の確保を課題としています。
小野町としては、産学官連携でのソフト産業の振興について、全国の先行事例を調査するとともに、高速交通網、情報通信基盤、人材といった地域資源を活かした産業の育成・誘致の一つの方策として、関係機関などの助言や意見を伺いながら、町として取り組める内容について検討していきたいと思います。

◆担当課
小野町役場企画課
◆電話
０２４７－７２－６９３９
◆ファックス
０２４７－７２－３１２１
◆電子メール
kikakuka@town.ono.fukushima.jp

　１０００本桜では日本一にはなれないので、１００万本の桜を目指そう。奈良の吉野は3万本らしいので、まずは、それを追い越すことを目指して行動してはいかがでしょう。

　桜を活かしたまちづくりについては、町の重要な観光戦略として夏井の千本桜を中心にしながら進めています。
　桜に関しては、今後の管理手段として桜のオーナー制などのご意見もあることから、将来にわたる管理方法を検討しています。
　なお、桜に限らず100万本の水仙やコスモス、梅の町など、地域の誇りとなるような「花の里」づくりを、住民や地域等が一丸となって取り組むことが大切と思います。他に類を見ない新たな「地域の宝」を育むことができるよう、樹種・植樹・管理方法など多方面のご助言をお聞きし、ご提案の趣旨を踏まえながら観光行政に活かしていきたいと思います。

　小野町の歴史や観光をわかりやすく知ってもらう目的で、子供から大人一般まで幅広い世代からの公募により文章(読み札)を作り、絵や写真で「取り札」を作成して、幼児や低学年に贈ってはいかがでしょうか。

　六歌仙の一人「小野小町」の生誕伝説のある小野町にとっては、和歌をもちいた地域紹介なども地域資源を活かした個性的なＰＲ方法の一つと考えます。
　他の自治体・観光協会においては先例もあり、その効果等を調査し、裏面を名詞に活用できるなど、小野町の独自色を発揮しながら広く町民に親しまれる、また、観光PR素材として利用できるカルタとして、公募などによる作成方法、無償・有償を含めた販売方法、企画作成機関を研究し、提案の趣旨に沿って実施していきたいと考えています。

石塚医院より絵本寄贈

　9月14日、町長室において「石塚幼児文庫」の贈呈式が行われました。
　これは、石塚医院（石塚尋朗院長）より、「園児達に優れた絵本とふれあい、豊かな人格を形成していただきたい」と、昨年に引き続き町内6幼児施設に絵本57冊を寄贈していただいたものです。
　いただいた絵本は、早速、各園において午睡前や降園前に読み聞かせをしております。
　この度のご好意に対し、紙上より厚く御礼申し上げます。

（左から）吉田教育長、橋本園長、宍戸町長、石塚尋朗院長、石塚ミフユプランナー

保育士登録の経過措置の終了について

児童福祉法の改正により、平成15年11月29日から従来の「保育士（保母）資格証明書」では保育士として業務を行うことができなくなり、都道府県知事に登録し保育士証の交付を受けることが必要となりました。

経過措置の終了により、平成18年11月28日までに登録が済んでいない方は、保育士として業務を行うことができなくなります。

現在保育士として業務を行っている方及び今後業務を予定している方は、期日までに登録してください。

◆問い合わせ

福島県子育て支援グループ

☎024－521－7175

出産育児一時金の支給額が変更になりました

国民健康保険に加入している方が出産したときに支給される「出産育児一時金」の支給額が変更になりました。

平成18年10月1日以降に生まれた子ども１人につき、5万円引き上げられ、30万円から35万円になります。

手続きには、

①国民健康被保険者証（保険証）

②母子健康手帳

③印かん

④預金通帳

が必要になりますので、忘れずにお持ちください。

◆問い合わせ　町民生活課　☎72－6933

秋の行政相談週間

悩みや苦情は、まず相談！

10月16日(月)から22日(日)の一週間は「秋の行政相談週間」です。

行政相談は、役所（国、県及び市町村）やNTTなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、みなさんと関係行政機関等との間に立ってその解決をお手伝いするものです。

行政相談委員は、いつでも自宅で相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

また、相談所を次により開設しますので、ぜひこの機会をご利用ください。

○行政相談員

二瓶　洋補

谷津作字松葉1番地の2

☎72－3297

○行政相談会

【日　時】

平成18年10月17日(火)・19日(木)

午前10時～午後3時

【場　所】

小野町多目的研修集会施設

（1階・青年婦人研修室）

行政相談員
二瓶洋補さん

国民年金コーナー

12月生まれの方から「現況届」が不要になります

現在、国民年金を受給されている方は、誕生月の初め頃に「現況届」が送付され、末日までに提出することになっていましたが、12月生まれの方から住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）を活用し、現況を確認することになりましたので、提出が不要となります。

なお、提出が不要な方には誕生月に、現況届が不要となったお知らせが届きますので、ご確認ください。

ただし、所得状況の確認が必要な障害基礎年金を受給されている方など、一部の方は従来どおりの手続きが必要となりますのでお間違えのないようにお願いします。

社会保険料控除証明書は年末調整や確定申告にご利用ください

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となります。

一年間に納付した国民年金保険料の金額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」は、社会保険庁から毎年11月初旬に送付されます。

証明内容は、①本年1月から10月2日までに納付された国民年金保険料額と、②年内に納付が見込まれる場合の納付見込額となっています。

納付忘れなどがある場合も、年内に納付すれば、今年分の控除として申告することができます。

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月3日以降に本年初めて保険料を納付する方については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されますので、結果として、平成18年中に国民年金の保険料を納付した方全員にこの証明書が送付されます。

年末調整または確定申告の手続きをする際にご利用できますので、なくさないよう保管してください。

◆問い合わせ

ねんきんダイヤル

（現況届についての相談のみ）

☎0570－07－1165

郡山社会保険事務所

☎024－932－3480

町民生活課

☎72－6933

高齢者インフルエンザ予防接種のご案内

◎**対　象**
①65歳以上の方
②60歳〜64歳で心臓、じん臓、呼吸器等の障害のある方で身体障害者手帳1級の方

◎**期　間**
10月〜平成19年1月末まで（期間外の場合には、全額自己負担となります）

◎**実施医療機関**
指定医療機関
（小野町、田村市、三春町）
※必ず予約をしてください。

◎**持参するもの**
①健康保険証
②老人手帳または健康手帳
③接種料　1、000円

◎**接種回数**
1人1回

◆**問い合わせ**　健康福祉課
☎72−6934

健診で「要精検」・「要医療」の方は早めに受診を！

各種健診の結果、「要精検」「要医療」と判定された方は、そのまま放置せず結果通知書を持参して早めに医療機関で受診しましょう。

インフルエンザにかからないためにはどうすればよいのですか？

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。これは欧米では一般的な方法です。日本では年々ワクチンを受ける方の割合が増えてきています。インフルエンザにかかった場合の重症化防止の方法として有効と報告されています。

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳(せき)、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します（飛沫感染と呼ばれています）。インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や慢性疾患を持っている人や、疲れていたり、睡眠不足の人は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。のどの粘膜の防御機能が低下するためですので、外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度（50〜60％）を保つようにしましょう。十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、常日ごろからバランスよく栄養をとることも大切です。帰宅時のうがい、手洗いも、一般的な感染症の予防としておすすめします。

また、インフルエンザにかかって、咳などの症状のある方は特に、周りの方へうつさないために、マスクの着用をお勧めします。

休日当番のお医者さん

月　日	当番医	所在地	電話番号
10月22日(日)	のざわ内科クリニック	三春町	(61)1500
29日(日)	秋元医院	田村市(船引町)	(82)1514
11月3日(祝)	**石塚医院**	**小野町**	**(72)2161**
5日(日)	春山医院	三春町	(62)3239
12日(日)	遠藤医院	田村市(船引町)	(85)2016
19日(日)	**板橋医院**	**小野町**	**(72)2661**

＊電話確認のうえ受診してください。
＊小野町ホームページの「休日当番医一覧」をご覧ください。http://www.town.ono.fukushima.jp

10月・11月の保健ごよみ

内容		10月	11月	受付時間	場所
こころの相談室（要予約）		——	9日(木)	10:30〜12:30	母子健康センター
予防接種	ポリオ	——	14日(火)	13:30〜14:30	保健福祉センター
予防接種	高齢者インフルエンザ	平成19年1月まで		指定医療機関（小野町、田村市、三春町）	

＊健診や予防接種などについては、「おのまち健康カレンダー」をご覧ください。

◆**問い合わせ　健康福祉課　☎72-6934**

Hi! アンドレです

社会教育指導員
アンドレ・エスタニスラオ

　先月、私は夏休みの一部について記事を書きました。小野中学校の生徒とアメリカに行き「中学生の翼事業」を楽しんだことについて書きました。今月は、私の夏休みの続きを話したいと思います。それには2つの理由があり、過去の良い思い出について話をすることは素晴らしいと感じること、小野町がだんだん寒くなってきたので‘夏’について書きたいと考えたからです。

　私は「中学生の翼」が終了してから数週間後、夏休みをとり東京で友人たちに会い、さらに富士五湖周辺に遊びに行きました。私は新幹線で東京まで行き、友人に会いました。

　東京から富士五湖までは、とても長い道のりでした。友人は、お盆の時期であったので、交通量を考え高速バスには乗らないほうが良いと言いました。そのため私たちは、新宿から富士五湖まで3台の異なった列車に乗りました。目的地に着くまでにはおよそ2時間30分かかりましたが、湖はもちろん全ての景色が非常に素晴らしかったので、長時間かけて足を運んだ甲斐がありました。周囲の山々と富士山のシルエットが、水面に映し出されていて富士五湖は本当に幻想的でした。また、私たちは富士山の近くにある氷洞にも入り、とても楽しい思い出を作ることができました。

　富士へ旅行に行ったあと私は小野町に戻り、平成18年度田村地区英語弁論大会に向けて再び練習を始めました。

　私は小野中学校から大会に出場した生徒、そして浮金中学校から出場した生徒もまた一生懸命発表していたと、確信しています。弁論大会のために練習することとは別に、塾やそれぞれのクラブ活動に最善を尽くしていた彼らを見て、その忍耐力や勤勉さにとても驚かされました。弁論大会は、非常に長いスピーチを暗記しなければならないだけでなく、彼らの気持ちや多くの感情を込めて発表しなければならないのでとても難しいことであると私は考えます。しかし、彼らは一生懸命上手に発表することができていました。

　結局、私たちは最高賞を手に入れることはできませんでしたが、学業を全うするためにこの大会に参加した全生徒を、私は当然ながら誇りに思っています。

田村地区英語弁論大会のようす

ふるさと小野町会 ふれあい通信

変わりゆくふる里

林　武次（飯豊出身）

　広報おのまち、小野高同窓会報、ＰＴＡあぶくま、ふるさと小野町会と町の情報がどんどん入ってくる今日このごろです。

　遠くに生活していても、変わりゆくふる里の姿が写真と人々の話の中から手にとるようにわかり楽しませてもらっています。

　昭和23年から飯豊中学校に入り高校３年まで６年間、第二のふる里として飯豊で時を過ごしました。その恩返しもできぬまま、昭和29年にふる里を出て横浜で50年、第一、第二、第三の人生を送らせてもらっています。

　第二のふる里、飯豊村が小野町となり、町おこしに「ふるさと小野町会」が平成11年に発足し、私もその会員の末席を賜り、めざましい活躍に感激しております。

　最近になって帰省して当時の面影をたどって飯豊を廻ってみたところ、道路はすべて舗装され、家並みも昔風はなく近代的家屋になり驚いてしまい、それに広いところに大きなマーケットが建ち、あぶくま高原道路、福島空港道路、インターチェンジと道路の変貌にも驚きました。当時、時間をかけて歩いていたところが今では車で10分たらずです。時間の短縮は活動範囲が広がり、町の発展には大きい財産です。

　思い出として、当時、つつじ満開の高柴山に登り、反対側の矢大臣山のお祭りには友達と山頂をかっぽした思い出があります。それに東堂山、杉並木が大木となり昼なお暗い様相を呈しており、その様子を絵にするために写生会をした覚えがあります。

　現在は羅漢様が並び今年は町長が建立した昭和羅漢も拝見することができました。

　わすれかけていた飯豊がこんなに発展し町の活性化に若者が活躍していることに拍手を送らざるを得ません。特に東北の軽井沢とも言われ名付け親に感銘しております。

　今後は我々の年代の人生卒業生が再生活の場として別荘になり、新築家屋を建て最後の地とする試みもよいのではないかと思います。

　私は現在、先崎武会長から小野高東京（関東）支部を引き継ぎ支部長をしている関係上、小野高出身の東京方面在住者の総会出席をお願いする次第です。

　変貌した我がふる里は、これからの若い人を活気付ける町でありたいと願っております。

楽しかった合同運動会

小野わかば幼稚園・中央さくら保育園

9月16日に小野わかば幼稚園・中央さくら保育園合同運動会が小野新町小学校校庭で行われました。誰もが雨を心配する空模様でしたが、子ども達の願いが通じて見事に晴れ、青空の下で実施できました。

小野わかば幼稚園と中央さくら保育園の4歳・5歳児は、県の幼保連携パイオニア事業により4月から、月に数回ずつ合同保育を実施しています。そのため運動会の練習も合同で仲良く進められました。

年齢別に種目の内容や小道具等、両園の保育者が話し合い、子ども達が楽しく参加できるよう配慮しました。中央さくら保育園の3歳児も参加し、可愛らしさを発揮しました。親子競技では子ども達以上に張り切る保護者の姿も見られ、親子一体となって楽しめたようです。幼保対抗の保護者綱引きもかなり気合いが入っていました。

5歳児の全員リレーは、抜きつ抜かれつの攻防戦に会場中から大声援が送られました。練習を始めた頃は、バトンを渡されても、隣の子を待って走り出すという姿も多かったのですが、回を重ねる毎に自分の力を出し切って頑張り、チームの勝利のために力を合わせていくようになりました。

閉会式で一人ひとりの首に金メダルがかけられ、満足顔の子ども達でした。

合同運動会のようす

小町子ども教室～遊びの楽校（がっこう）

町では、福島県子どもの居場所づくり推進事業として小町子ども教室『遊びの楽校』を多目的研修集会施設において週1回、小野新町小学校プレールームにおいて月2回実施しています。

この事業は、子ども達の安全・安心な遊び場の確保や多様な体験活動を通して、心身共に健やかな子ども達の成長を図ることを目的として行われており、今年で2年目を迎えました。小野新町小学校の1～4年生を対象に募集したところ保護者や児童からも好評で68名の参加希望がありました。多数の参加者にボランティアの大人達は、一様に驚きと喜びを感じていました。

参加者は、毎回、活動指導員の指導で、宿題・七夕かざり・里山史跡めぐり・ドッジボール・フットベースボール・お話会・月見だんごづくりなどいろいろと趣向を凝らし活動を行っています。「友達がふえた」「今までに知らないお話をたくさん聞けてよかった」といった声があがっています。また保護者の方からは、「とても良い事だと思います」「家庭ではできないような物づくり等を教えていただき感謝しています」という感想をいただいています。10名いる活動指導員の方々は「いつも若さやエネルギーを子ども達からもらい、子ども達に小学生の頃大人の人達といろいろな遊びをして楽しかったという美しい思い出を作ってあげたい」という気持ちで活動しています。

これからも、子ども達が意欲的に活動ができるよう計画していきたいと思います。

里山史跡めぐり
さあ出発！

七夕の飾りつけ

みんなそろって

押し花作り
どの花にしようかな

ふるさと文化の館からのお知らせ

●図書館

◇移動図書館

図書の貸出、返却を行います。ご利用ください。

10月11日（水）	午後3:00～4:00	上羽出庭地区農村研修センター
10月18日（水）	午後3:30～4:30	夏井多目的集会施設
11月 1日（水）	午後3:00～4:00	浮金集落センター
11月 8日（水）	午後3:00～4:00	上羽出庭地区農村研修センター
11月15日（水）	午後3:30～4:30	夏井多目的集会施設

◇リサイクル本市

保存年限の過ぎた雑誌をお譲りします。

日時：平成18年11月3日（金）9：00～17：00

●美術館

◇小野町美術展

町民のみなさんの作品を展示します。ぜひ、ご鑑賞ください。

◎前期：10月21日（土）～10月29日（日）
書道・てん刻・きり絵・七宝焼・陶芸

◎後期：11月3日（金）～11月12日（日）
絵画・押し花・タペストリー・彫刻

おめでとう　勤青ホーム交歓会

このほど、福島県勤労青少年ホーム交歓会が南相馬市において行われ、小野町から参加したバレーボールチームが優勝、バドミントンチームが第3位と、それぞれ入賞を果たしました。

この交歓会は、県内勤労青少年ホーム利用者の親睦と友情を深める目的で行われ、今年で第34回を数えます。

選手のみなさん、おめでとうございます。

バレーボールチームのみなさん

バドミントンチームのみなさん

文化・体育振興基金にご寄付ありがとうございました

文化・体育振興基金は、本町の文化・体育振興を目的に設立されております。

ご寄付をいただいた方に厚く感謝いたします。

◎御寄付いただいた方

さいとう医院 様

（さいとう医院親睦会益金）

ありがとうございました。

たすきでつなぐ小野町の夢

ふくしま駅伝小野町チーム結団式

9月12日、海洋センターアリーナにおいて、第18回ふくしま駅伝小野町チームの結団式を開催しました。

式では、ふくしま駅伝小野町チーム本部長の町長から役員・選手に委嘱状が交付され「町の名誉を背負って走ることは大変なことですが選手みなさんの力走を期待しています。」と激励の言葉が送られ、西牧裕司監督に町旗が授与されました。

また、チーム代表として西牧監督から「チーム一丸となり昨年より上位を目指しがんばります。」と決意が述べられました。

本大会の日程は11月19日(日)午前7時50分スタート、白河総合運動公園陸上競技場から福島県庁前までの16区間96.2kmで競われます。

町民のみなさんの温かいご声援をお願いいたします。

役員・選手は、次のとおりです。（敬称略）

◎役員

▼監督
西牧　裕司（公務員）

▼コーチ
山口　信義（自営業）
舞木　富雄（自営業）
上遠野　正明（会社員）
宗形　俊二（公務員）
吉成　誠（公務員）
山田　真太郎（公務員）
今村　勝也（公務員）
松本　一（公務員）
双里　義和（公務員）
宗方　保之（公務員）

▼トレーナー
石井　一彦（会社員）
伊藤　政美（会社員）

▼マネージャー
大竹　しずか（会社員）

◎選手
吉田　勤（公務員）
野中　永（公務員）
嶋津　美香（自営業）
清野　昭雄（公務員）
吉田　浩（会社員）
大方　精子（大学生）
吉村　智和（高校生）
吉田　雅俊（高校生）
長谷川　裕大（高校生）
藤井　沖（高校生）
草野　朋子（高校生）
柳沼　信輔（中学生）
先崎　太郎（中学生）
鈴木　裕人（中学生）
鈴木　康（中学生）
吉田　純平（中学生）
大楽　昭徳（中学生）
二瓶　尚之（中学生）
吉田　葵（中学生）
大竹　栞（中学生）
渡邊　智恵（中学生）
吉田　千奈美（中学生）
橋本　彩（中学生）
村上　貴大（中学生）
大井川　凌（中学生）
西牧　拓也（中学生）

第13回町民グラウンド・ゴルフ大会開催

9月2日、運動公園多目的グラウンド、野球場において第13回町民グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。

大会には31チーム総勢278名が参加しグラウンド、野球場内に設けられた16ホールで熱戦が繰り広げられました。

成績は次のとおりです。

女子の部

順位	名前	行政区	スコア
優勝	宗像　カツ子	浮金	39
準優勝	矢吹　長子	本町	40
第3位	村上　アキ子	谷津作	40
第4位	平山　良子	仲町	41
第5位	高橋　テイ子	谷津作	42
第6位	草野　秀代	塩庭一区	43
第7位	国分　ミツ	小野山神	43
第8位	会田　光子	仲町	43
第9位	国分　ハギ	小野山神	44
第10位	草野　典子	塩庭一区	44

男子の部

順位	名前	行政区	スコア
優勝	伊藤　勲	谷津作	35
準優勝	大楽　敬四郎	大八	37
第3位	今泉　隆忠	本町	38
第4位	佐藤　信忠	小野山神	39
第5位	矢吹　今朝男	荒町	40
第6位	藤井　利夫	反町	40
第7位	遠藤　良治	本町	40
第8位	郡司　一	谷津作	40
第9位	矢吹　泰良	本町	40
第10位	松本　令巳	湯沢	41

団体の部

順位	行政区	スコア
優勝	谷津作B	266
準優勝	谷津作D	267
第3位	仲町A	270

谷津作Bチームのみなさん

と　き：平成18年10月28日（土）9：00～16：00
10月29日（日）9：00～15：00
ところ：小野運動公園（町民体育館・駐車場）

とうろく君まつり
同時開催10/28

イベント・展示内容

イベント	県警音楽隊演奏会（28日）各種展示・さくら市の郷土芸能・お楽しみ抽選会・ビンゴ大会・キャラクターショー・さんまつかみ取り大会ほか
展　示	芸術文化団体作品・幼児小中学生作品・農業展・各企業企画ほか

2006　小町ふれあいフェスタ

“小野町産業祭・文化祭”

　小町ふれあいフェスタ（小野町産業祭・文化祭）を、ネーミングも新たに開催いたします。
　さまざまなイベント・展示・お楽しみが盛りだくさん、ご家族・お知り合いお誘いあわせの上、ぜひおいで下さい。

詳しくは新聞折込チラシをご覧下さい

問い合わせ

小町ふれあいフェスタ実行委員会
（小野町産業振興課内）
TEL 0247-72-6938
FAX 0247-71-1037
E-mail
info@fown.ono.fukushima.jp

とうろく君まつり開催

今年の小町ふれあいフェスタには、あぶくま町村交流会加盟11市町村が出店し、第5回とうろく君まつりを同時開催いたします。

ご来場いただき、各市町村の特産品を味わってみませんか。

総合労働相談コーナーのご案内
「職場でのトラブル解決をお手伝いします」

企業の組織再編や人事労務管理の個別化などにより、職場における個々の労働者と事業主とのトラブル（紛争）が増加しています。

福島労働局では、「総合労働相談コーナー」を県内5ケ所に設置し、解雇、労働条件、募集・採用、男女均等取り扱い、セクシュアルハラスメントなど、労働問題に関するあらゆる分野について、総合労働相談員が労働者・事業主からの相談をお受けし、紛争の自主的な解決を促進するための援助を行なっています。

また、個別労働関係紛争に関して当事者から援助を求められた場合には、「労働局長の助言・指導」や「紛争調整委員会による斡旋」により、解決に向けて福島労働局が無料でお手伝いをします。

職場でのトラブルの発生が心配な方、トラブル・労務などで疑問をお持ちの方は、お気軽に最寄りの「総合労働相談コーナー」にお問い合わせください。

◆問い合わせ

◎郡山総合労働相談コーナー
〒963−8025
郡山市桑野2−1−18
（郡山労働基準監督署内）
☎024−922−1370

◎福島労働局
総合労働相談コーナー
〒960−8021
福島市霞町1−46
（福島合同庁舎5階）
☎024−536−4600

平成18年度「福島県若者・フリーター就職支援セミナー」

就職活動中の若者・フリーターの皆様を支援するため、県の主催で就職支援セミナーが開催されます。セミナーでは、専門のキャリアカウンセラーが担当し、履歴書の書き方、面接試験の受け方を始めとして、就職活動に役に立つことを実践形式で学ぶことができます。

なお、雇用保険受給資格者がこのセミナーを受講した場合、「求職活動」を1回行なったものとみなされます。

●期日
11月14日（火）10時〜17時
（働くことの意義、自己理解など）
11月15日（水）10時〜17時
（応募書類の作り方、面接の受け方など）

●場所　郡山市ビッグアイ

●定員　20名（申し込み多数の場合は、抽選により受講者が決定されます）

◆問い合わせ・申し込み先
福島県就職サポートセンター
☎024−927−4772

10月は「労働保険適用促進月間」です

『雇ったら、入る。』

労働保険（労災保険・雇用保険）は、労働者が労働災害や失業したときに必要な保険給付を行い、生活の安定・社会復帰や再就職の促進・雇用機会の増大等を図ることを目的として、政府が管理・運営している強制的な保険制度です。

事業主のみなさん、加入手続きはお済みですか。

加入手続きを怠っていた期間中に、労働災害が生じ労災給付を行った場合、遡及して労働保険料を徴収するほか労災給付に要した費用の全額・一部を徴収することとなっています。

労働者を一人でも雇っている事業主は、労働保険に加入する義務があります。

手続きがお済みでない事業主の方は、最寄りの労働基準監督署・ハローワーク（公共職業安定所）または労働保険事務組合（労働保険の事務を代行する団体で、商工会・事業協同組合等があります）におたずねください。

◆問い合わせ
福島労働局
☎024−536−8800

知っていますか？
建設業退職金共済制度

この制度は、建設現場で働く方々のために「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼りその労働者が建設業界で働くことをやめたときに建設業退職金共済制度から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

◎加入できる事業主
建設業を営む方

◎対象となる労働者
建設業の現場で働く人

◎掛金　日額310円

▼特　長
○国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です。
○経営事項審査で加点評価の対象となります。
○掛金の一部を国が助成します。
○掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
○事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

◆問い合わせ
建設業退職金共済事業本部
福島支部
☎024−523−1618
ホームページアドレス
http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp

ごぞんじですか！　検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあったが、検察官がその事件を起訴してくれないのはどうも納得できない。そのような不満をお持ちの方は、検察審査会にご相談ください。

◆問い合わせ
郡山検察審査会事務局
☎024−932−5656

11月の行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 英会話教室（夜の部） ≪多目的研修集会施設≫ （19:00～20:30） 文化の館・移動図書館 ≪浮金集落センター≫ （15:00～16:00） 窓口業務延長日（19:00まで）	2 ちびっこおはなし会 ≪ふるさと文化の館≫ （11:00～11:30）	3 文化の日 小野町美術展（～12日まで）≪ふるさと文化の館≫ （9:00～17:00） 文化の館・リサイクル本市 ≪ふるさと文化の館≫ （9:00～17:00）	4
5	6 英会話教室（昼の部） ≪多目的研修集会施設≫ （10:00～11:30）	7 おやつ教室 ≪保健福祉センター≫ （受付10:00～10:15）	8 英会話教室（夜の部） ≪多目的研修集会施設≫ （19:00～20:30） 文化の館・移動図書館 ≪上羽出庭農村研修センター≫ （15:00～16:00） 窓口業務延長日（19:00まで）	9 人権相談所開設 （10:00～15:00） こころの相談室【要予約】 ≪母子健康センター≫ （10:30～12:30）	10 育児教室 ≪母子健康センター≫ （受付10:00～10:15）	11
12	13 英会話教室（昼の部） ≪多目的研修集会施設≫ （10:00～11:30）	14 ポリオ予防接種 ≪保健福祉センター≫ （13:30～14:30）	15 英会話教室（夜の部） ≪多目的研修集会施設≫ （19:00～20:30） 文化の館・移動図書館 ≪夏井多目的集会施設≫ （15:30～16:30） 窓口業務延長日（19:00まで）	16 ちびっこおはなし会 ≪ふるさと文化の館≫ （11:00～11:30）	17 ヘルスアップ運動教室 ≪多目的研修集会施設≫ （13:30～15:30）	18
19 第18回ふくしま駅伝 ≪白河～福島≫ （7:50～） 休日窓口業務実施日 （8:30～17:00）	20 英会話教室（昼の部） ≪多目的研修集会施設≫ （10:00～11:30）	21 健康・栄養・口腔相談 ≪母子健康センター≫ （10:00～12:00）	22 英会話教室（夜の部） ≪多目的研修集会施設≫ （19:00～20:30） 1歳6か月児健診 ≪母子健康センター≫ （受付13:00～13:15） 窓口業務延長日（19:00まで）	23 勤労感謝の日 小野町功労者表彰式 ≪多目的研修集会施設≫	24	25
26	27 英会話教室（昼の部） ≪多目的研修集会施設≫ （10:00～11:30）	28	29 英会話教室（夜の部） ≪多目的研修集会施設≫ （19:00～20:30） 窓口業務延長日 （19:00まで）	30 子育て広場 ≪保健福祉センター≫ （10:00～12:00） 文化の館・図書館休館日		

表紙の説明

敬老会の余興で小戸神小学校の全校生が披露してくれた俳句は、子どもらしい、生き生きとした素晴らしい作品ばかりでした。

あとがき

敬老会の会場で見かけた高校生ボランティアと敬老者のふれあいは、何気ない行動の中にたくさんのやさしさが詰め込まれていたような気がします。

日常のさりげないふれあいが町中に広がれば、小野町はもっともっと素敵な町になることでしょう！　（佐）

平成18年度町税納期ご案内

基本月	税目	期別等	納期限
10月	町県民税	3期	10月31日
11月	国民健康保険税	4期	11月30日
12月	固定資産税 国民健康保険税	3期 5期	12月25日
1月	町県民税 国民健康保険税	4期 6期	1月31日
2月	固定資産税	4期	2月28日

●組合加入でない方は、便利な口座振替で

町の人口

平成18年9月1日現在

人　口　11,990人（＋4）

男　5,784人（＋6）

女　6,206人（－2）

世帯数　3,760世帯（＋1）

（福島県現住人口調査結果から）

お誕生おめでとう

氏名	父・母	行政区
庭田　元気（げんき）	勉・玲子	反町
先﨑眞梨菜（まりな）	学・久美子	大八
三部　葉月（はづき）	秋彦・恵美子	飯豊下
村上　李空（りく）	義宏・由美	飯豊下
宗像　莉樹（りき）	功明・瞳	飯豊下
生天目光介（こうすけ）	稔光・泉	浮金

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	行政区
村上　アヤ子	74	中通
野﨑　モトヨ	93	平舘
村上　六郎	62	小野赤沼
先﨑　治雄	81	皮籠石
冨澤　義正	74	夏井

（8月届出分）

※この欄は、プライバシー保護のため、届出の際に同意を得た方を記載しています。

※記事については、常用漢字・人名用漢字で記載しております。

編集と発行／小野町役場企画課
福島県田村郡小野町大字小野新町字舘廻92　TEL 0247-72-2111(代)
http://www.town.ono.fukushima.jp
e-mail info@town.ono.fukushima.jp